

※「合格体験記」は受験テキストからの抜粋です。

合格体験記 – 合格者の声

さて本節では、これまでに当方が提供する受験対策テキストや各種サービスをご利用頂き、かつ見事プロジェクトマネージャ試験に合格された方の合格体験記をご紹介します。

合格体験記を読むことで、合格者は合格されるだけの努力と工夫をなさっていることがよく伝わってくるのではないかと思います。どのように弱点を克服し、また勉強を工夫したのか、そしてどうやって学習時間を捻出したのか、等々大いに参考になると思います。

それでは次ページより、執筆にご協力くださった4名の方の合格体験記をご覧ください。掲載順は原稿を頂いた順番とさせて頂いております。また合格体験記中に本名で記載されている方は、事前に本名での記載に同意して頂いております。

この場をお借りして、合格体験記をご執筆くださった皆様方に厚く御礼を申し上げます。皆様の体験が、多くの受験者の参考になることと思います。ありがとうございました。

①合格体験記 その1

(1)合格者情報	
氏名	中島 陽一郎 様
現在の職種	システムエンジニア
経験年数	20年
合格までの受験回数	2回
合格した年	平成22年
スコア	午前 I : 免除 午前 II : 60 点 午後 I : 66 点 午後 II : A
合格証番号	
(2)使用した当方提供の受験対策 (※該当する箇所を■にしてください)	
受験対策テキスト	<input checked="" type="checkbox"/> 使用した <input type="checkbox"/> 使用しない
受験対策小冊子 (電子書籍)	<input type="checkbox"/> 使用した <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない
論文添削	<input checked="" type="checkbox"/> 使用した (1回) <input type="checkbox"/> 使用しない
論文添削通しサポート	<input checked="" type="checkbox"/> 使用した (2回) <input type="checkbox"/> 使用しない
メールマガジン	<input checked="" type="checkbox"/> 使用した <input type="checkbox"/> 使用しない
受験対策サイト	<input checked="" type="checkbox"/> 使用した <input type="checkbox"/> 使用しない
(3)それ以外の受験対策	
受験対策の教材内容	情報処理教科書 プロジェクトマネージャ プロジェクトマネージャ合格論文の書き方・事例集

●合格体験記

(1) 受験の動機

情報システム開発の仕事をしてから20年近くたち、様々なプロジェクトを経験してきました。しかし、プロジェクト管理を体系的に勉強したことはなく、過去の事例と自分の考えに基づいてプロジェクトを進めてきました。PMBOKなど体系的にプロジェクト管理を勉強することで、自己啓発と同時に今後の業務にも生かしていきたいと思いました。

また、委託するメーカーの開発者には、PM資格保有者も多く、少し

引け目を感じていました。PM資格を保有することで引け目なく対等に話ができる立場になりたいと考えていました。

(2) 重点的に学習を行うべき箇所とその理由

午前 I は免除であったため、午前 II からの試験となりましたが、重点的に学習したのは午後 II の論文対策です。前回の試験では午後 I で NG だったものの、午前 II と午後 I は独学で過去問題を繰り返し解くことで突破できると思いましたが、午後 II は独学では限界があり、添削を受けることは必須であると考えました。

(3) あなたの学習方法

午前 II と午後 I は、過去問題を繰り返し解くことに重点を置きました。午後 I は、単に解いて答え合わせをするだけでは、なかなか得点が上がりません。答え合わせの時に、なぜそのような解答になるのか？丁寧に理解することに気を付けました。また、御社の「プロジェクトマネジメント教科書」の試験解答パターンは、電車の中で繰り返し読みました。

午後 II は、過去問題から論文を作成する練習を繰り返し行いました。練習には、御社の添削サービスが大変役に立ちました。自信を持って送った論文が C 評価であった時は、さすがに気落ちしましたが、御社の丁寧な指導で何度も書き直し、最後は自分なりに評価 A の論文を作成することができました。この繰り返し練習で、題意を外さずに論旨展開ができたことが本番でも随分役に立つことができました。

(4) 試験当日の感想

H22 年度は午前 II が結構難しかったので、非常に焦りました。結構危ないと思いつつも、気分を入れ替えて午後 I を受験しました。午後 II の論文は、事前の用意した論文テーマに近いものがあつたので、迷わず選びました。とは言え、緊張していたせいか思うように文章が書けませんでした。途中で手が動かなくなるトラブルもあり、設問 I が終わったのが 30～40 分前でした。急ぎ設問ウに取りかかりましたが、時間ぎりぎりでも 600 字をようやく超えて終わりました。正直、論文は半分

半分の確率ではないかと思っていました。

(5) 合格を確認した時の感想

正直、少し合格は難しいと思っていたので、合格した時には非常にうれしかったです。最後、論文を最後まであきらめずに書き続けたことが、よかったと思っています。会社では報奨金などの制度はありませんが、少し自信を持って仕事を進められるようになりました。

(6) 弊社の受験対策がどのように役立ちましたか？

午後 II 論文の添削サービスは、大変役に立ちました。毎回大変分かり易い指摘で、今の自分に何が欠けているのか？次はどうすればよいのか？というのがよく分かりました。問題文の題意に沿って論文展開を行っていくことが、頭の中では分かっているつもりでも、実際に論文を書くとなかなかそうならないことが、何度もありました。

特に通しサポートでは、論文評価がAになるまで続けられるので、自分で論文を書きながら、少しずつ上達していくのが目に見えてきました。最後に評価Aになった時は、これが最後でないと知りつつも、添削を続ける上での励みとなりました。

また、途中で学習の進め方などを質問した時にも、長文で丁寧にご返事をいただき、そのアドバイスを参考に勉強を進めていきました。試験直前は、問題文の題意の読み取りと論文構成を作成することを中心に学習しました。このような親身なサポートも、モチベーションを維持する上で随分と役に立ちました。

②合格体験記 その2

(1)合格者情報	
氏名	中川 正臣 様
現在の職種	システムエンジニア
経験年数	17年
合格までの受験回数	3回
合格した年	2011年
スコア	午前Ⅰ：免除 午前Ⅱ：86点 午後Ⅰ：71点 午後Ⅱ：A
合格証番号	PM-2011-04-01322号
(2)使用した当方提供の受験対策（※該当する箇所を■にしてください）	
受験対策テキスト	■使用した □使用しない
受験対策小冊子 （電子書籍）	■使用した □使用しない
論文添削	■使用した（1回） □使用しない
論文添削通しサポート	■使用した（1回） □使用しない
メールマガジン	■使用した □使用しない
受験対策サイト	■使用した □使用しない
(3)それ以外の受験対策	
受験対策の教材内容	過去問の解説本 論文集

●合格体験記

(1) 受験の動機

SEとしての経験を積むに従い、参加したプロジェクトの問題点（納期、予算、品費）が気になるようになってきました。そして、どのようにすればプロジェクトが成功するのかを知りたいという気持ちが強くなりました。

そろそろプロジェクトを管理する立場になりたいと思い始めていたこともあり、プロジェクトを成功させるための知識、技術を身につける目的で、プロジェクトマネージャ試験を受験することにしました。

(2) 重点的に学習を行うべき箇所とその理由

午後Ⅰが一番重要であると考えました。その理由は、午前は過去問を繰り返すことで対応でき、論文は午後Ⅰの知識をアウトプットすればよいと考えたからです。

(3) あなたの学習方法

午前Ⅰ：

免除でした。

午前Ⅱ：

過去問を繰り返すために、試験対策ファイルを作成しました。

- ① 過去問5回分をA4横2段組みで、両面印刷する。
- ② 問題を解き、間違いや不明点は赤ペンで記入する。
- ③ クリアファイル(※1)に閉じる。
- ④ 毎日めくる。10秒でもよいので、寝る前にめくりました。時間があればじっくり解いて、回答チェックします。

試験日には、全ての問題の解答を覚えていました。

※1 クリアファイルは100円ショップで購入しました。めくりやすく、紙も傷まないのが、繰り返しには最適でした。

午後Ⅰ：

試験解答パターンの学習資料を使用しました。学習資料は電子書籍で御社から購入したものです。

- ① A4 100枚のノート(※2)を用意する。
- ② 1ページ上部に1問貼り付ける。
- ③ 問題を解き、ページ下部に解答を記入する。
- ④ 毎日めくる。時間があれば、読んで解答をイメージしてチェックする。

最初は、問題を読んでから、手書きで解答を書いていました。しかし隙間時間に学習する場合はペースが上がりませんでした。その対策として、問題を読んで、頭の中で回答し、解答とチェックしました。試験日までには、ほぼ解答パターンを覚えていました。

※2 枚数が多いので、クリアファイルでなくノートにしました。

午後 II :

最初は模範論文を書き写していましたが、筋トレ程度しか効果はありませんでした。そこで、御社の論文指導を受講しました。1回目は問われている内容を正確に把握することができず、前提知識も不足しており、多くの指摘をいただきました。もう一度テキストを読み直し、知識をしっかり定着させてから、論文を何度も修正し提出しました。

後は市販の短期攻略テキストをざっくり読んで、いくつかの論述パターンを作成しました。

(4) 試験当日の感想

午前 II は過去5年間の問題が多く出題されており、余裕でした。

午後 I は自信を持って書き始めましたが、やはり途中で混乱して時間不足となり、焦ってしまいました。それでも、わかるはずだと自分に言い聞かせて、淡々と回答を記入しました。全てが分かったわけではありませんが、合格ボーダーラインは超えたのでは？という印象でした。

午後 II は自信を持って挑みましたが、論文設計に30分かかり、急いで設問アを記述しました。残り1時間で設問イ、ウを記述することになってしまい、焦りながらも最低限読める文字で記述しました。

当初のイメージとはかけ離れた独りよがりの論文になったと反省しました。

(5) 合格を確認した時の感想

論文の出来が理想とかけ離れて悪かったので、合格は無理だと諦めていました。ただ、午後 I だけでもクリアしていれば、論文の評価が確認できるので、結果発表後から、次回に向けて準備を開始しようと前向きに考えていました。

合格発表のHPで受験番号を入力し結果を表示しましたが、合格なのか不合格なのかをすぐには把握できませんでした。午前 I は予想通りの得点で足切りクリア、午後 I も足切りクリアで、午後 II も結果が出ているようでした。そして、どこをどう見てもすべて問題ないように見えま

す。自分の目が信じられず、嫁さんと何度も確認しましたが、どう見ても結果は「合格」。

しばらくは信じられなくて、何度も何度も結果を見直してしまいました。そして、ようやく合格したんだと実感でき、静かに万歳しました。

(6) 弊社の受験対策がどのように役立ちましたか？

まず役立ったのは、午後 I の試験解答パターンでした。過去問を学習するのが最適だとは分かっていたのですが、問題を繰り返すにはまとまった時間が必要でした。しかし、パターン学習であれば、問題文の量も少なく、問いと回答がほぼ 1 対 1 なので、隙間時間で少しずつ進めることができました。そして時間に余裕があるときは、どんどん問題をこなしました。多くの問題を解くことで、解答パターンが見えてきました。そうすると、新しい問題を見ても、どのパターンで回答すればよいかを検討することで、落ち着いて回答できるようになりました。

次に午後 II の論文は、当初は自分勝手な合格論文をイメージして書いていました。しかし、客観的な厳しい評価をいただき、知識不足と自分の意図を読み手に正しく伝える文章力のなさを痛感しました。何度も指導を受けることで、不足している知識を身につけることができました。また、自分ではくどいと判断して省略している事項も、きちんと文章にして表現しなければ、どのような思考から結論を導き出したのかが、第三者に明確に伝わらないということを学びました。また、自分で論文提出の期限を設定したので、ダメでも書いて提出する覚悟が付き、最後まで学習を継続できました。

③合格体験記 その3

(1)合格者情報	
氏名	匿名希望
現在の職種	システムエンジニア
経験年数	24年
合格までの受験回数	3回
合格した年	23年春
スコア	午前Ⅰ：免除 午前Ⅱ：76点 午後Ⅰ：72点 午後Ⅱ：A
合格証番号	PM-2011-04-01034号
(2)使用した当方提供の受験対策（※該当する箇所を■にしてください）	
受験対策テキスト	<input type="checkbox"/> 使用した <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない
受験対策小冊子 （電子書籍）	<input type="checkbox"/> 使用した <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない
論文添削	<input checked="" type="checkbox"/> 使用した（2回） <input type="checkbox"/> 使用しない
論文添削通しサポート	<input type="checkbox"/> 使用した（ 回） <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない
メールマガジン	<input checked="" type="checkbox"/> 使用した <input type="checkbox"/> 使用しない
受験対策サイト	<input checked="" type="checkbox"/> 使用した <input type="checkbox"/> 使用しない
(3)それ以外の受験対策	
受験対策の教材内容	<ul style="list-style-type: none"> ・某資格取得校プロジェクトマネージャ試験対策問題集 ・某資格取得校の公開模試

●合格体験記

(1) 受験の動機

私はソフトウェア会社で20年以上働いていますが、高度情報処理試験の資格を持っていませんでした。基本情報と応用情報（当時は2種、1種）は入社後比較的すぐに取得したのですが、それ以降はほとんど勉強することもなく、日々、日常業務をこなすのが精一杯で資格取得に前向きではありませんでした。一度は社内で推奨している大手資格取得会社のシステムアーキテクトの通信教育を申し込み、チャレンジしようと試

みましたが、高いお金を払ったにもかかわらず、途中で挫折しました。2年前に情報処理技術者試験制度が変更になったときに自分なりに、20年以上やってきた仕事に対して、なにか結果を残しておきたいと思い、プロジェクトマネージャの勉強を真面目に始めました。

(2) 重点的に学習を行うべき箇所とその理由

苦手分野は人それぞれ違うので、重点的に学習を行うべき箇所も人それぞれだと思います。情報処理技術者試験は「足切り」があるので満遍なく点数がとれるように偏った勉強は避けるべきだと思います。私の場合は午後 II の論文に苦手意識がありましたので、それを克服することに重点を置きました。

(3) あなたの学習方法

午前 I

御社メールマガジンを毎日やりました。それだけで午前問題は突破できます。自宅パソコン画面で問題を解くのは目も疲れるし帰宅後 PC を立ち上げない日もあるので、私はメールマガジンの問題を紙にプリントしておき、寝る前に布団の中で1日分だけ解いたり、通勤電車の中で解いたりしました。1度やっただけでは忘れてしまうので、繰り返し実施しましたが、解説を読んでも分からない問題はそのまま読み飛ばしました。6割で合格なので100点とれなくてもよいという前提で勉強に臨みました。午前問題に時間をかけて高得点を狙うより苦手な午後の問題に時間を割かなければならないと思っていたから、そんな学習方法になりました。

午前 II

メールマガジンを実施した上で、御社サイトの午前 II 予想問題集をやりました。これも繰り返し学習しました。1度目で理解できず読み飛ばした問題も2度目になるとすーっと頭に入ってきて、こういう意味だったのか。ということが解説を読んで理解できるようになりました。サイトの予想問題の解説は非常に丁寧に書かれていて、あらためて参考書で調べる等の行為は行わずともよいと感じています。

午後 I

問題集を購入して午後 I の問題を解きました。基本的には過去問題です。過去問題を繰り返し解くことで傾向が理解できます。私は試験が近づくと直前対策として、会社の問題集はおいておき、始業までの 20 分で 1 問とくとということをして毎日やりました。過去に 1 度解いている問題なので 20 分で 1 問できてしまいます。これがなかなかよかったです。2 週間で過去問を集中して 10 問解くだけで全く違います。

また、御社サイトの試験回答パタンの学習を繰り返し勉強しました。これは午後 I 問題を最初から最後まで解くわけではないのでとても時間を有効に使えます。机に向かってまとまった時間を取らなくてもよいので、私はやはり通勤電車のなかで、繰り返し試験強化塾の問題をやりました。午後 I の問題は 1 問解くのにととても時間がかかって、それなりに時間を取って勉強しないとダメだと最初は思っていたのですが、試験回答パタンの学習や集中力を高めて学習することによって短時間でも成果を上げることができるということが最近分かりました。

午後 II

論文はやはり自分で書いてみないと本番で点数はとれません。私の勉強方法は、論文はとりあえず PC ワードで書いてみる。いくらでも校正がきくし手も疲れません。かなり時間をかけて書き上げた論文を、今度は手書きしてみる。これは写すだけです。本番試験でいきなり論文はハードルが高すぎますので、せめてこれくらい事前にやっておかないとダメだと思います。あとは内容ですが、私は御社論文添削を 2 回受けて 1 度目は C 判定、2 度目は B 判定でした。両方とも「題意に添った論文を書いていない」というご指摘を受けそれがとても印象に残っています。自分で読み返してみると指摘は的を射ており「なるほど」と思うことばかりでした。もしかしたら、自分は普段から独り善がりの行動をしてるんだな。と自分なりに反省しました。

(4) 試験当日の感想

23 年度の試験は今まで勉強してきたことが、そのまま試験に出ているという感じを受けました。問題はどれも素直でオーソドックスな問題ば

かりだったと感じました。午前 I 免除というメリットもあり、終了後は心地よい疲れが残っただけでした。やはり午前 I 免除のメリットは大きいです。

(5) 合格を確認した時の感想

合格発表の 8/15 (月)、私は自宅 PC で発表を確認しました。今までの努力が報われて非常に嬉しかったと同時に、秋のシステムアーキテクト試験にむけて意欲がわいて来ました。PM と同じ時期に勉強を初めたシステムアーキテクトですが、こちらも 2 戦 2 敗なのでリベンジを心に誓いました。

(6) 弊社の受験対策がどのように役立ちましたか？

午前 I、II はメールマガジンとサイトの予想問題、午後 I はサイトの試験回答パターン、午後 II は論文の添削、と全ての分野において御社受験対策を活用させて頂き、それが全てとても役に立ちました。私の場合はお金のかからないメールやサイト掲載の問題ばかりで合格に繋がったような気がします。いまでは、最初から御社受験対策テキストを買って勉強すればよかったと思っています。これからプロジェクトマネージャの勉強を始められる方には絶対に御社テキストを薦めます。

私が一番苦手とした論文は 2 回添削して頂き 2 回ともこてんぱんに指摘され添削されましたが、私の弱点を的確にとらえた指摘であったため、素直に軌道修正することができたのだと思っています。添削依頼時には、どのテーマで論文を書くかということについてメールで相談のって頂いたために自分なりに的を絞ることができました。また、直前に添削して頂いた論文は、提出がかなり遅くなったにもかかわらず無理を言って本番試験までに添削して頂き、試験直前に添削結果を確認したうえで本番試験に臨むことができました。私の場合、直前の添削が大いに役に立ちました。論文添削に関しては非常に満足しています。私の弱点をついた的確な指摘には全く脱帽してしまいました。

④合格体験記 その4

(1)合格者情報	
氏名	森 義明 様
現在の職種	制御系システムの開発
経験年数	25 年
合格までの受験回数	3 回
合格した年	2011 年
スコア	午前 I : 免除 午前 II : 72 点 午後 I : 61 点 午後 II : A
合格証番号	PM-2011-04-01288 号
(2)使用した当方提供の受験対策 (※該当する箇所を■にしてください)	
受験対策テキスト	<input checked="" type="checkbox"/> 使用した <input type="checkbox"/> 使用しない
受験対策小冊子 (電子書籍)	<input checked="" type="checkbox"/> 使用した <input type="checkbox"/> 使用しない
論文添削	<input type="checkbox"/> 使用した (回) <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない
論文添削通しサポート	<input type="checkbox"/> 使用した (回) <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない
メールマガジン	<input checked="" type="checkbox"/> 使用した <input type="checkbox"/> 使用しない
受験対策サイト	<input type="checkbox"/> 使用した <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない
(3)それ以外の受験対策	
受験対策の教材内容	<ul style="list-style-type: none"> ・某資格取得校の通信講座 ・某資格取得校の模擬試験

●合格体験記

(1) 受験の動機

受験の動機は、プロジェクトマネージャ資格の取得が昇格の条件であったからです。また、合格すると奨励金がもらえます。正直なところこの奨励金も動機の一つです。

私の経験年数は、25年です。初めて学習した言語は、アセンブラ言語です。その当時は、プロジェクトマネジメントという言葉を目にしませんでした。いわゆる経験と勘で納期・品質・コストを管理していました。この機会にプロジェクトマネジメントの知識を体系的に学習しよ

うと考えました。

(2) 重点的に学習を行うべき箇所とその理由

重点的に学習したのは、午後 I です。プロジェクトマネージャ試験に限ったことではないと思いますが、情報処理試験は、午後 I が最難関だと思います。実際、過去の受験では、午後 I の評価で不合格となりました。全学習時間のうち約 7 割を午後 I の学習に充てました。

(3) あなたの学習方法

○午前 I ・午前 II の学習方法

某資格取得校の通信講座の問題集と、御社の「情処プロマネ対策 小論文強化塾」のメルマガを学習しました。午前対策の基本は、過去問題を解くことだと思います。

同じ問題が繰り返し出題されるという特徴があると思います。

今回の受験は、3 回目ということもあり、試験の直前 2 週間を午前の学習に充てました。

○午後 I の学習方法

午後 I は、私にとって難関です。学習方法は、過去問題を徹底的に解くということでした。午後 I の問題は、1 問当たり 40 分が目安です。40 分という時間をまとまるとることは、容易いことではありません。そこで学習の役に立った教材は、御社の「小冊子：総括！プロマネ受験対策」です。特に「試験解答パターンの学習」が効果があったと思います。細切れの時間を使って学習するのに有効でした。

○午後 II の学習方法

某資格取得校の通信講座と、御社の「情処プロマネ対策 小論文強化塾」で学習しました。

そして、合格論文集を読みました。

「情処プロマネ対策 小論文強化塾」の題意を外さない問題文の読取りに関しては、大いに参考になりました。「Sheet.xls」（論文題意を把握するプロセスが記載されているファイル）を有効に活用しました。学習時間

は、受験経験があったため全学習時間の2割くらいです。

○その他の学習方法

最近、PMBOKを意識した出題が多いので、PMBOKガイドを学習しました。

(4) 試験当日の感想

じつは試験前の1カ月程、出張続きで多忙であり、試験勉強がほとんど出来ない状況でした。不安を抱えたまま当日をむかえました。

午前の問題は、今まで通り70%くらいは得点できると思い安心していました。実際は、72点です。

午後Iに関しては、一応空白の解答欄を無くすことを心がけて、問われていることの趣旨を間違えないように取り組みました。手ごたえは、過去と同様にありませんでした。不安が残りました。午後Iで手ごたえを得るということは、難しいと思います。

午後IIは、題意の読み取り、書くべきことの整理がうまくできたため、自信を持ってました。

合格のカギは、「午後Iの出来にかかっている」と思いました。

(5) 合格を確認した時の感想

合格を確認した時、率直に言って大変うれしく思いました。今後、この資格を生かして仕事をしたいと思いました。後輩の指導も積極的に行いたいと思いました。プロジェクトの失敗という悲劇を味わうことなく、プロジェクトを運営したいです。

プロジェクトマネジメントとは、「変化と人をマネジメントする」ですね。人をマネジメントすることは、永遠のテーマでしょうか。

(6) 弊社の受験対策がどのように役立ちましたか？

■「小冊子：総括！プロマネ受験対策」について

午後I、午後II対策ともに役立ちました。

○「付録A 解答パターン学習」について

印刷して持ち歩いていました。設問→解答の関係を1秒以内のレスポンスができるように何度も繰り返し学習しました。午後Iは、会話のような瞬発力が必要だと思います。瞬発力の訓練に有効なメソッドだと思います。細切れの時間を使っての午後Iの学習という面でも効果がありました。

○「5. 論文目次の作成と題意を外さない問題文の読取り」について

P.92 辺りから問題文の読み取り方法等が記述されていますが、大変参考になりました。

■メールマガジンについて

○「Sheet.xls」

御社のメールマガジンに紹介されている、「Sheet.xls」は、下記のようになっています。論文の骨子をまとめるツールとして有効でした。

【STEP 1】 目次内容

【STEP 2】 問題文の引用箇所

【STEP 3】 読み取れること（題意）

私は、上記に「【STEP 4】 書くべきこと」を加えて論文の骨子作成訓練をしました。試験当日は、論文を書く前に30分くらいかけてSTEP 1からSTEP 4を落ち着いてまとめました。それが合格につながったと思います。

※本合格体験記に記載されている「Sheet.xls」は以下よりダウンロードできます。

⇒ <http://pm.tlcm.jp/sheet.xls>